

血液・腫瘍グループのカンファレンス紹介

京大小児科血液・腫瘍グループでは、小児外科、整形外科、脳外科、放射線治療科、病理診療科やリハビリテーション部をはじめとする多領域の診療科やコメディカルとの合同カンファレンスを通じて、診療・研究・教育の三位一体となったチーム医療を推進しています。

小児外科カンファレンス

毎月1回（木曜日夕方）。固形腫瘍など臓器移植を含めた手術を伴う症例の治療方針を検討し、手術リスクと化学療法の最適バランスを追求します。さらに術後経過の相談などを行います。

整形外科カンファレンス

毎月1回（木曜日夕方）。骨腫瘍症例を中心に、手術適応・再建法・リハビリ計画を議論し、整形外科との協働により症例検討や治療後のQOLを最大限に保ちます。

脳腫瘍カンファレンス

毎月1回（火曜日夕方）。小児科、脳神経外科、放射線科が参加し、手術方針、放射線・化学療法計画を総合的に討議し、小児脳腫瘍の個別最適治療の実現を目指します。

病理カンファレンス

隔月1回（第4金曜日午後）。腫瘍生検や摘出標本の病理スライドをもとに、主治医・病理診断医が臨床経過・検査・画像・病理所見を提示し、疾患理解を深め、診断・治療方針の決定に資する総合的な知識の習得を目指します。



造血移植・移行医療カンファレンス

隔月1回（第1火曜日午後）。小児科・血液内科・HLA研究所（<http://www.hla.or.jp>）が参加し、移植症例や細胞療法症例を一例ずつ多面的に検討します。移植適応・ドナー選定・合併症対策などを通じて移植成績の向上を図ります。また小児科から血液内科への移行症例の情報共有なども行います。

血液症例カンファレンス（Dr.&Ns カンファ）

週1回（火曜日夕方）に開催。医師・看護師・薬剤師・保育士・CLS・がん相談員・院内学級教員などが参加し、患者やご家族が抱える課題を共有します。多職種での視点を融合し、より良いケア・治療方針を検討します。

小児緩和医療カンファレンス

週1回（火曜日朝）に開催。小児科医・緩和医療チーム・看護師・薬剤師・臨床心理士などが参加し、疼痛管理や精神的サポート、家族の希望の把握を行い、患者一人ひとりに寄り添った全人的ケアの実現を目指します。

小児がんリハビリテーションカンファレンス

毎月1回（第3金曜日夕方）。リハビリ科、理学療法士、作業療法士、医師、看護師などが参加し、治療中・治療後の運動機能評価と支援方針を検討。成長・発達を見据えた身体機能の維持と社会復帰支援を行います。



LTFU（長期フォローアップ）カンファレンス

毎月1回（金曜日夕方）。小児科医師、看護師、がん相談員が参加し、治療後の晩期合併症、生活支援、成人診療科への移行支援を議論。長期フォローアップ体制の充実と“見守る医療”の推進を目指します。

小児・AYA がん支援センターカンファレンス

隔月1回。小児 AYA がんに関連する多科の医師・看護師と MSW が参加し、診療・心理・社会支援の三軸から、患者と家族を包括的に支援するカンファレンス。2025年4月に新設された「小児・AYA がん支援センター」の主要活動の一つです。